

**bluememe**  
MODEL & DESIGN YOUR BUSINESS

2025年3月期 第3四半期 決算説明資料

2025年2月14日

<b>01</b>	2025年3月期 第3四半期業績	>	<b>03</b>
<b>02</b>	当事業年度の状況と施策	>	<b>07</b>
<b>03</b>	九州大学との共同研究について	>	<b>17</b>

# 1

## 2025年3月期 第3四半期業績

---

bluememe

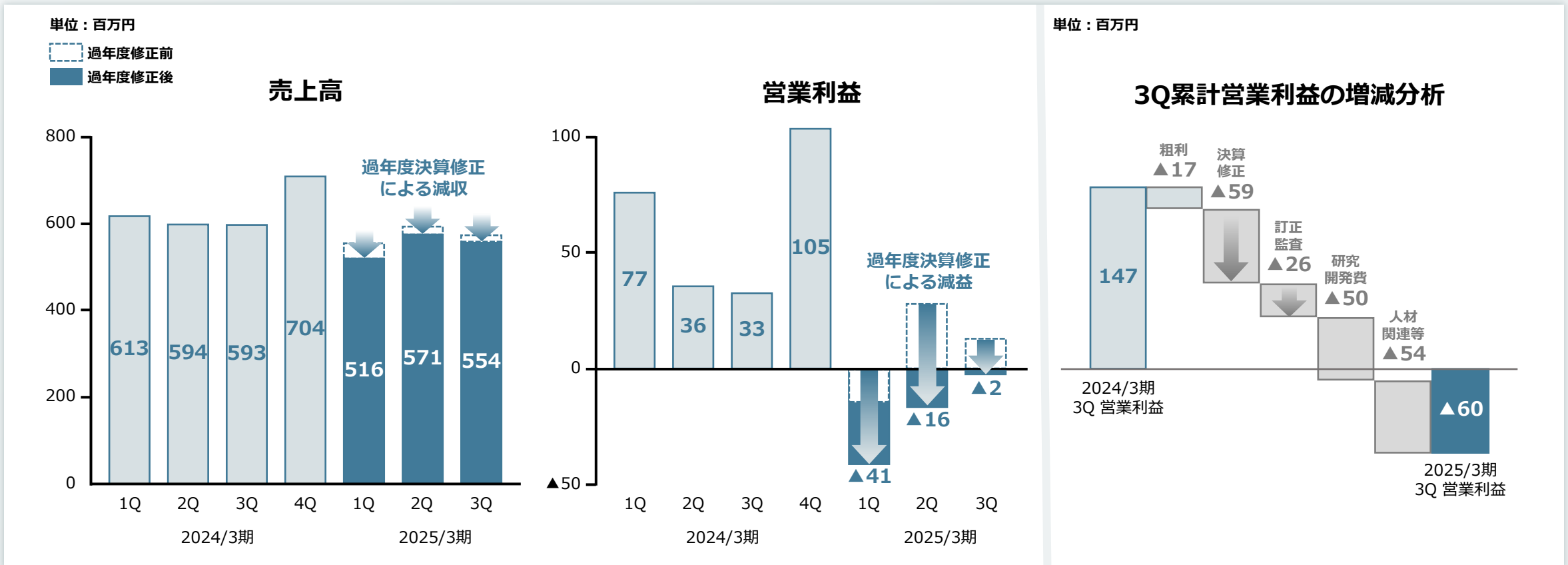
# 2025年3月期 第3四半期連結 決算ハイライト

- 過年度決算修正及びライセンス価格改定が減益要因となっているものの、四半期ベースでは減益幅は縮小傾向
- 主要取扱製品の大幅な価格改定により対象顧客の見直しを行い、今後の販売戦略及び組織体制の変更を実施
- ローコード市場の急速な拡大に対応するためにデジタルレイバーを含めたマルチローコード対応を強化

	2024/3期 3Q	2025/3期 3Q	増減額	対前年同期比	2025/3期 計画	進捗率
売上高	18.0億円	16.4億円	-1.5億円	91.2%	25.1億円	65.4%
プロフォーマ EBITDA	3.1億円	0.8億円	-2.3億円	26.1%	1.7億円	48.4%
営業利益	1.4億円	-0.6億円	-2.0億円	-	0.0億円	-
経常利益	1.4億円	-0.6億円	-2.1億円	-	0.0億円	-
当期純利益	0.7億円	-0.7億円	-1.5億円	-	-0.5億円	-

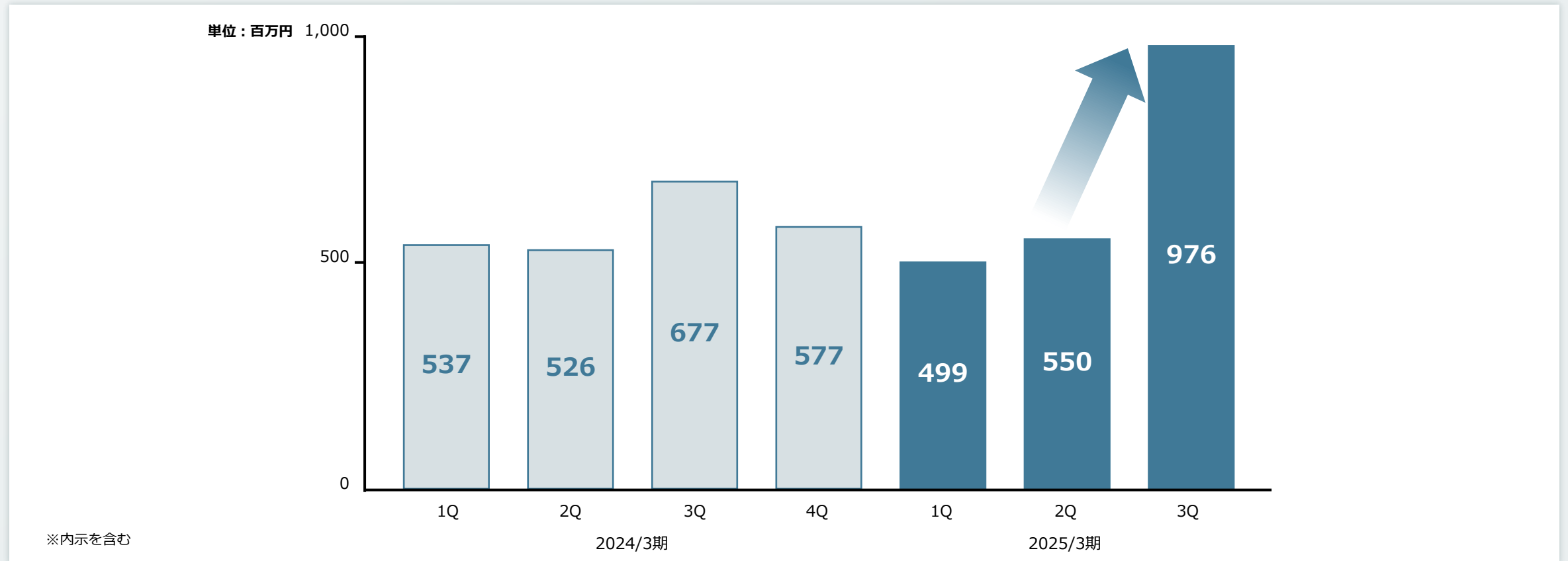
# 業績推移・営業利益増減分析

- 売上高については、過年度決算修正による減少と主要取扱製品の価格改定の影響を受け、対前年同期比でマイナスで着地
- 営業利益については、過年度決算修正の影響は残るものの、減益幅は縮小傾向にあり、第3四半期においては▲2百万で着地
- 過年度決算修正による当期の売上減少分と訂正監査費用の影響により、営業利益は前年の水準から大幅に減少



## 受注残高の推移

- 主要取扱い製品の価格改定の影響は残るものの、対象顧客や販売戦略の変更が奏功し、受注状況は回復基調
- 第3四半期はサービスの受注高が大幅に伸長し、対前年同期比で144%※での着地となった
- 第4四半期も引き続きサービス受注を強化し、今期のクローズ案件と併せ期末受注残の増加を図る



# 2

## 当事業年度の状況と施策

---

bluememe

## マイクロコート株式会社の株式取得

- 福岡を拠点に地域密着型でデジタルトランスフォーメーション（DX）推進に注力するマイクロコートとの戦略的提携を正式に決定
- この提携により、収益力の更なる強化を図り、事業エリアの拡大に加え、九州地域におけるIT人材の育成に一層の力を注ぐ
- 両社の協力を通じて、地域企業のDXを支援し、次世代の技術者育成と持続可能な成長の基盤を確立

### グループ化のメリットと今後の取り組み

- 開発リソースの強化による収益力の向上
  - 開発リソースを統合することで、既存案件への迅速な対応や新規案件の受注拡大が可能
  - 安定的かつ持続的な収益基盤を築き事業成長を実現
- 事業エリアの強化による地域密着型の迅速な対応  
マイクロコートの地元企業との関係性や業界理解を活用することで、地域特有の課題解決に貢献
- 人材採用・育成によるエンジニアリソースの拡大とサービス品質向上  
当社が持つノウハウを共有することで、教育体制を強化し、即戦力となるエンジニアをより多く育成





# 三協立山株式会社の基幹システム刷新プロジェクトを受注

- 三協立山の商業施設事業を担うタテヤマアドバンス社における基幹システム刷新プロジェクトを受注
- 三協立山は、建材事業、マテリアル事業、商業施設事業、国際事業を展開している会社で、その中でも、タテヤマアドバンス社は商業施設事業を担い、什器やサイン、店舗メンテナンスを提供し、設計から施工までをトータルでサポートしている
- 本プロジェクトにおいて、BlueMemeは先進的なソリューションおよびシステムを提供し、三協立山のDX推進を強力に支援

## プロジェクト発足の背景

- タテヤマアドバンス社はDXを推進するも、新しいシステムの導入が容易ではなかった
- 課題を解決するため、ローコード技術を活用した柔軟なシステム基盤を構築し、業務の標準化と効率化を推進
- また、手作業の削減と情報の一元管理を実現し、業務プロセス全体のスピードと精度を向上
- さらに、システムの拡張性を確保することで、将来的な市場変化にも迅速に対応できる体制を構築

## BlueMemeの支援内容

- 基幹業務システム（案件進捗管理、商業積算、販売管理）を刷新
- 業務ワークフローシステムとの連携を強化し、業務効率化を支援
- 電子帳簿保存法に準拠した情報共有基盤を導入し、仕入先とのデータ連携を円滑に行える環境を構築
- タテヤマアドバンス社の中長期的なDX戦略を支える基盤を構築

# 株式会社AIKと資本業務提携

- BlueMemeは、AI技術を活用した警備システムを提供し警備業界のDXを推進するAIKとの資本業務提携を締結
- BlueMeme Partnersが運営する「BlueMeme 1号投資事業有限責任組合」を通じてAIKへ出資を行い、警備業界のDXを加速し、警備人材のスキル向上と次世代の安全保障基盤の強化を目指す

## 提携の背景と目的

- 日本の警備業界はDXの進展が遅れ、業務効率の停滞や人材不足が深刻化
- AIKが提供するDXソリューションと当社の技術力を掛け合わせ、警備業務の自動化をWebプラットフォーム上で実現
- これにより、リアルタイムでの情報共有や分析を可能にし、迅速な意思決定を支援
- AIKは業界特有のニーズに応じた機能開発を行っており、警備業界全体の業務効率化とコスト削減、安全性の向上に貢献

## 提携内容

- **警備業界特化型DXソリューションの提供**  
最新技術とシステム開発のノウハウを駆使し、警備業務の自動化とデータ活用を加速
- **教育プログラムの共同開発**  
DXソリューション導入後の人材育成を包括的に支援するプログラムを構築
- **業界全体の価値向上**  
両社の強みを掛け合わせることで、警備業界のイメージ向上を目指す

# ナーブ株式会社への出資完了

- BlueMeme Partnersが運営する「BlueMeme 1号投資事業有限責任組合」は、XR(仮想現実)サービスを展開するナーブへの出資を完了
- 今回の出資を通じて、ナーブのさらなる成長とXR技術を活用した新事業の拡大を支援

## ナーブについて

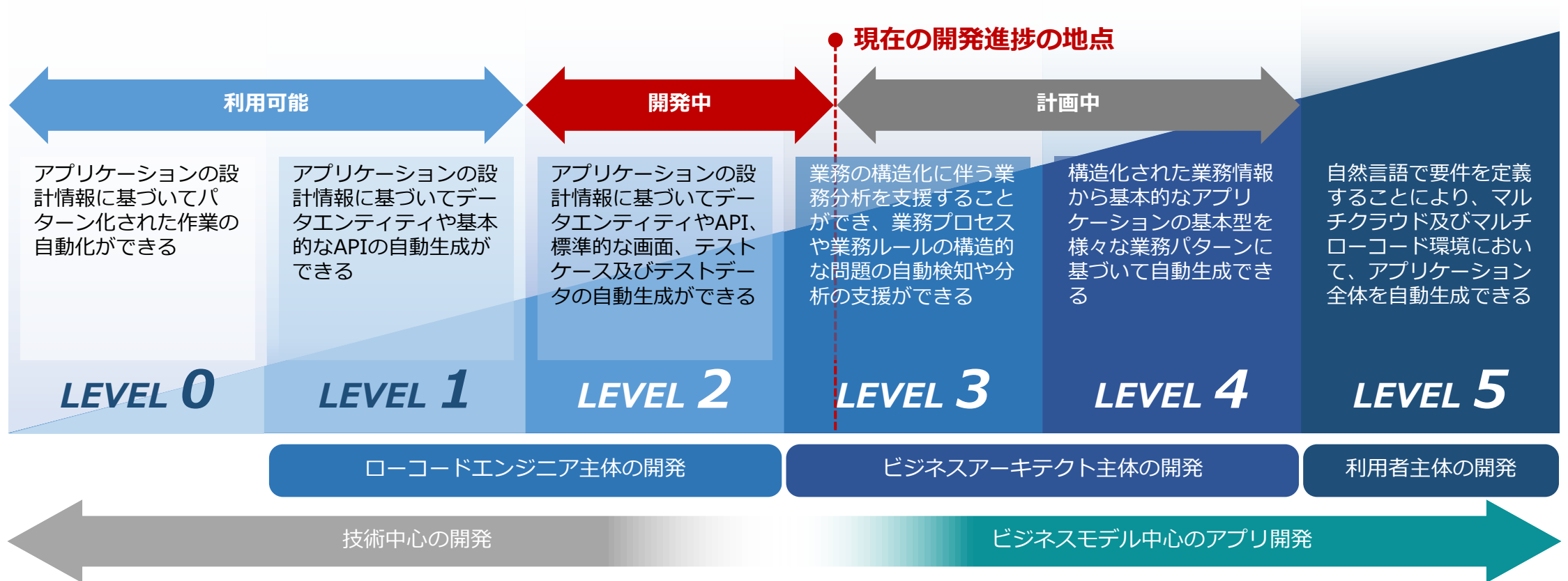
- XR技術を活用した革新的なサービスを提供する企業
- 不動産業界や旅行業界向けに、革新的なバーチャル体験サービスを提供
- 同社はすでにこの分野で「VR内見® 業界No.1」として確固たる市場シェアを確立
- 安全性が求められる業務や、地理的な制約によりリソースの同時共有が難しいビジネスの課題解決を支援するサービスも展開
- 大手不動産情報サイトと業務提携し、広範な不動産業界に「VR内見®」を提供。営業効率を向上。

## 出資理由

- 卓越した技術力と市場での高い成長ポテンシャルを評価
- 同社のXR技術が人材育成や作業手順の支援において有効
- XR技術とデータ解析を活用したビジネスの発展に期待
- 介護・福祉や医療分野における豊富なパートナーシップを活かし、顧客ニーズに応じた新たなVRサービスの提供を計画

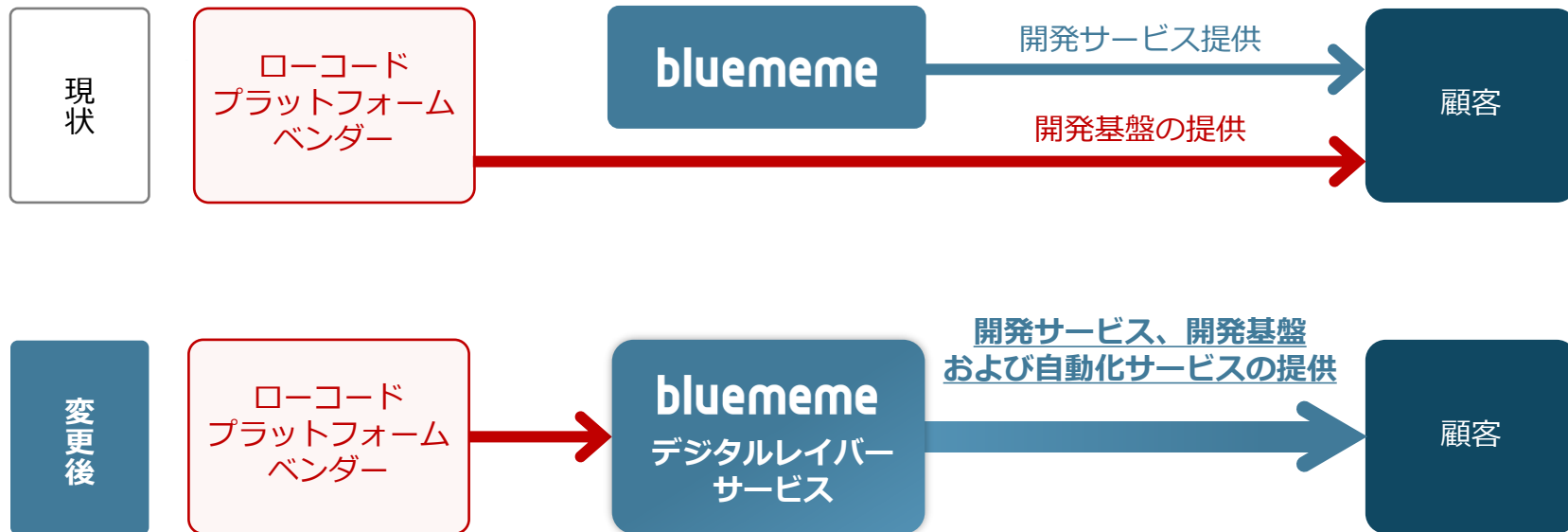
# デジタルレイバーの開発ステージ

- デジタルレイバー開発は実案件への適用によるLevel2の熟成にくわえ、上流工程に対応するLevel3部分の開発に着手
- デジタルレイバーを適用するパイロットプロジェクトの拡大を推進
  - 開発計画は順調に進展、開発自動化による工数削減効果を確認。実案件への適用により、1年程度をかけてLevel3を完成させる

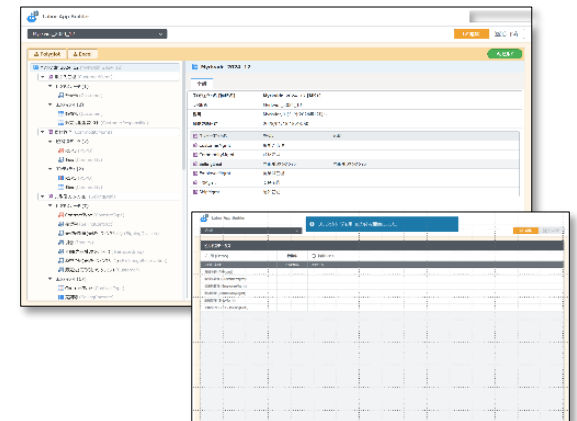


# デジタルレイバー活用による収益構造の変化

- 現状、当社ではローコード+アジャイル開発のサービスとライセンスを並行して提供
- デジタルレイバーの実用化に当たって、デジタルレイバーによる開発自動化サービスも加えた一体サービスとする。事業収益構造も含めて、大きく変革することを想定

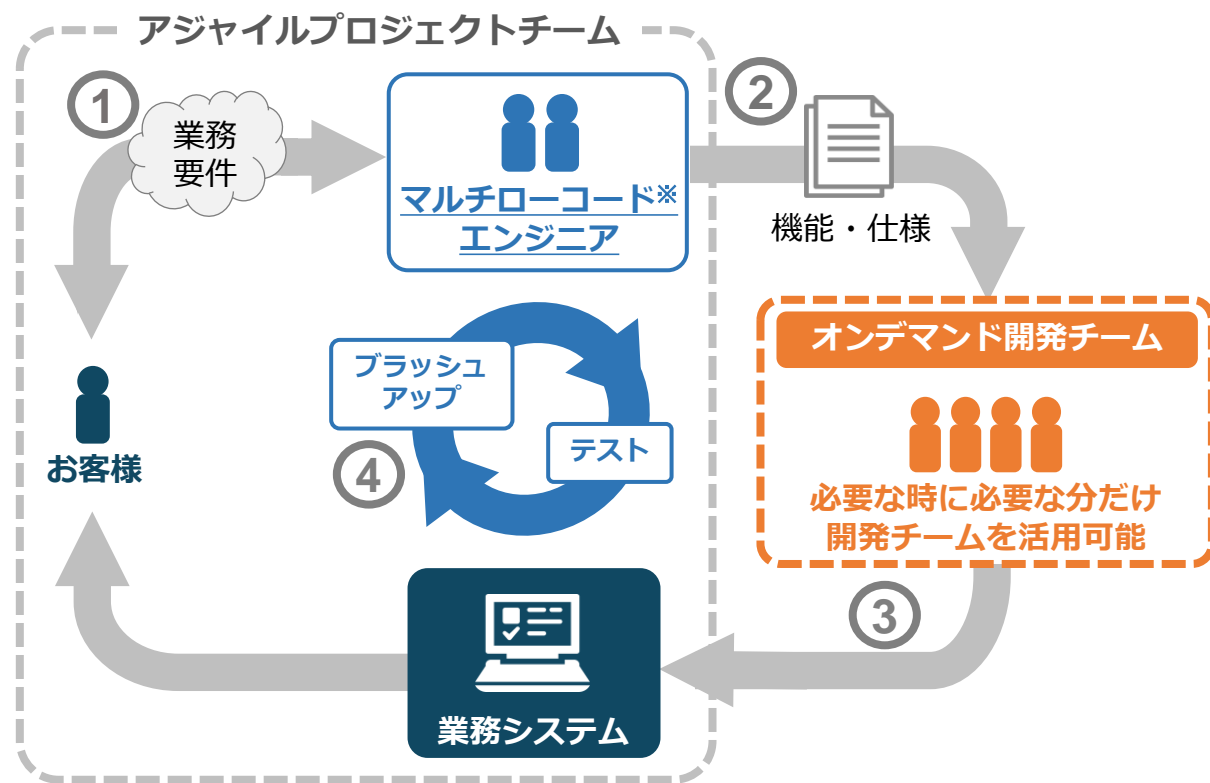


デジタルレイバー  
(開発中画面)



## マルチローコード基盤に対応し、開発サービスの提供範囲を拡大

- 顧客評価の高い製品の採用など、急成長するローコード市場に対応するためマルチローコード戦略を前倒しで強化。顧客の予算と規模に合わせた提案を可能にし、顧客層の拡大を図る
- マルチローコードに対応する組織体制等構築のため、戦略的な事業投資を継続

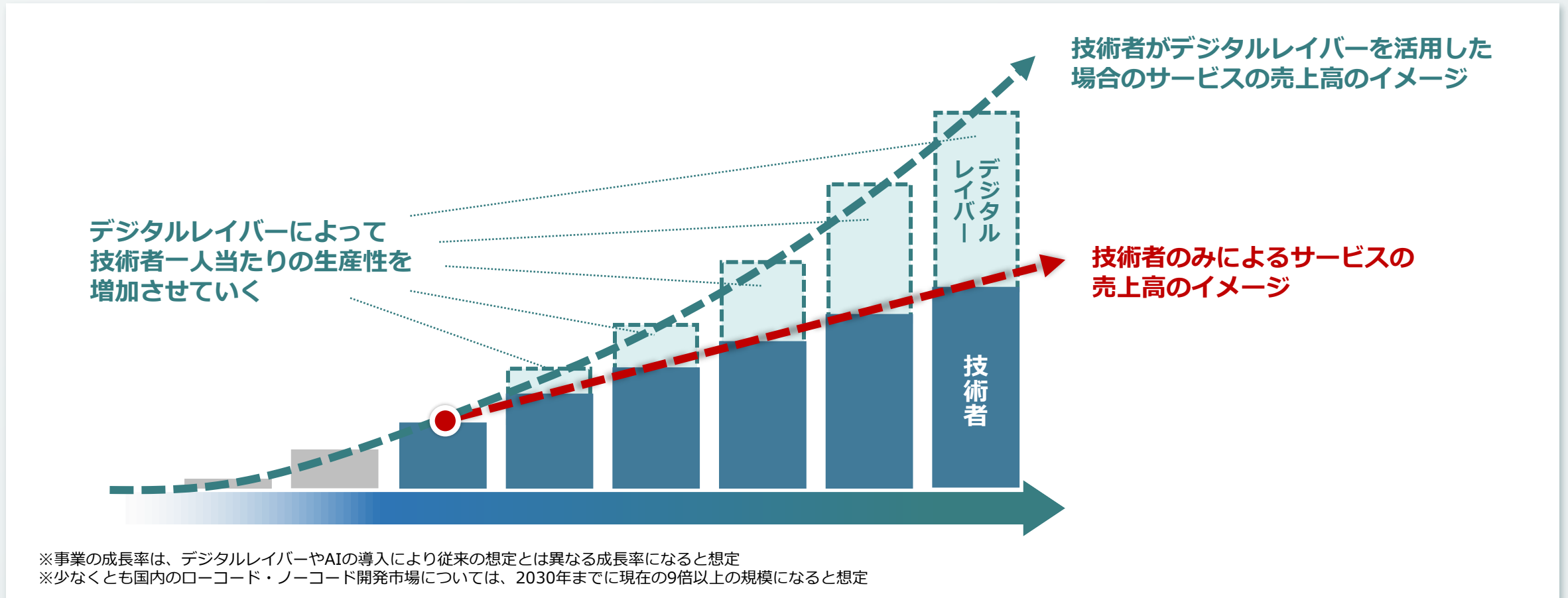


### \*マルチローコード

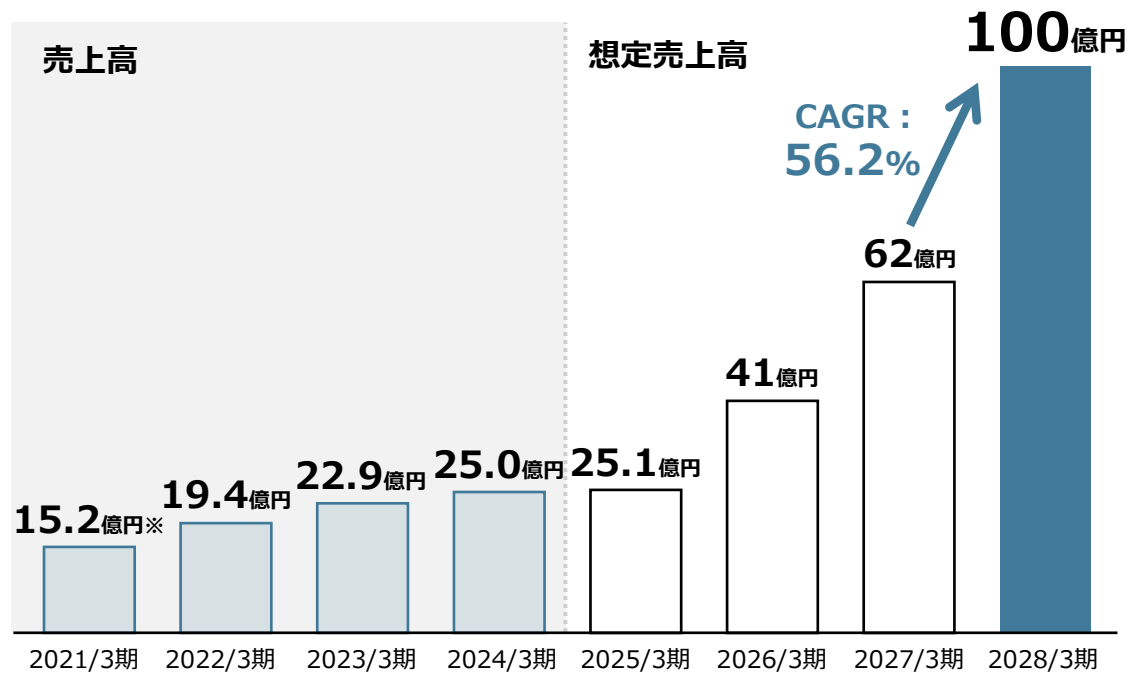
企業のニーズやシステム要件に応じて、最適なローコードツールを選択・組み合わせることで、より柔軟かつ効率的な開発を実現

# デジタルレイバーによって人件費率を低減

- 開発サービスの売上を向上させるため「技術者の数」と「技術者一人当たりの生産性」を増加する
- デジタルレイバーによって「技術者一人当たりの生産性」を倍増させることで売上拡大を狙う



# 当事業年度の状況と今後の見通し



※2021年3月期の収益認識基準（新基準）適用の売上高は監査法人のレビューを受けていないため参考値

## 当事業年度の状況と今後の見通し

- ・ 過年度決算修正によって売上減少や訂正監査費用があったが一過性の要因
- ・ ライセンス価格改定に対応するための新たな販売戦略が功を奏し、第3四半期の受注状況は回復基調
- ・ マルチローコード戦略を前倒しで進め、OutSystemsに次ぐ収益の基盤を構築する



# 3

## 九州大学との共同研究について

---

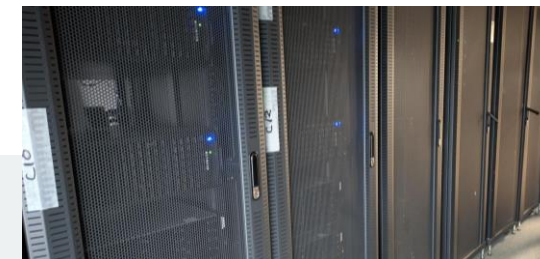
bluememe

# 九州大学と進める量子AI研究 – バイオメディカル分野への応用

- 当社は2023年4月より九州大学生体防御医学研究所と共同で、量子AIを活用したバイオメディカル言語モデルの社会実装に向けた研究を推進中。本取り組みにより、バイオメディカル情報解析分野におけるAI技術の発展と、量子コンピューティング技術の社会実装を推進。2025年内に、本研究成果の一部を論文として発表予定。

- プレスリリース：BlueMemeと九州大学、量子AIを用いた大規模言語モデル構築のための共同研究を開始  
<https://www.bluememe.jp/press-release-2023-06-14/>
- プレスリリース：BlueMemeと九州大学、ネットワークAI統計解析基盤の研究開発を開始  
<https://www.bluememe.jp/press-release2023-12-12/>

量子計算シミュレーション用HPC  
(九州大学生体防御医学研究所)



## 量子AIとは？

量子AIは、量子コンピュータの計算能力とAI技術を組み合わせることで、従来のAIよりも高度で高速な処理が可能になる技術です。

この技術は、特に膨大なデータ処理や複雑な最適化問題を解決する際に大きな効果を発揮します。

## 従来のAIとの違い

### データ学習効率：

量子コンピュータの特性により、少数のサンプルからでも効果的にパターンを抽出し、学習が可能（従来のAIでは大量のトレーニングデータが必要な場合にも適用）

### 最適解の探索：

複雑な予測タスクに対して、より精度の高い解を導き出す

### 情報処理能力：

量子重ね合わせにより、従来のコンピュータでは現実的な時間で計算できない膨大な組み合わせの同時計算が可能

## 当社の量子技術研究の分野および進捗

### 量子AI

#### 量子機械学習

**進捗：**

バイオメディカル分野でのブレークスルーを達成。2025年内に論文投稿予定。

**量子技術の影響：**

少量データでも高精度な学習汎化が可能に。従来の深層学習はデータ不足が課題だったが、量子技術により克服。

**想定される利用領域：**

LLMをはじめとする機械学習領域全般における計算コストを抑えた高精度学習の実現。中小規模の研究機関でも実施可能なバイオメディカル解析。

#### 量子最適化

**進捗：**

量子最適化を活用可能な遺伝情報解析を研究中。2025年内に論文投稿予定。

**量子技術の影響：**

量子重ね合わせにより多数の解候補を並列的に探索し、局所最適を回避してグローバルな最適解を見出せる。

**想定される利用領域：**

最適化領域全般（特に個別化医療、医薬品開発、物流最適化などへの応用）

#### ネットワークAI統計

**進捗：**

AIを活用した大規模ネットワーク解析の研究中。2025年内に論文投稿予定。

**ネットワークAI統計の影響：**

従来のアルゴリズムでは大規模ネットワークに対するスケーラブルな手法が限られていた。AIと統計学の組み合わせにより、大規模ネットワークの高精度分析が可能に。

**想定される利用領域：**

ネットワークが存在する分野全般（特にIoT、自動車センサフュージョン、ロボット、SNS、バイオインフォマティクスなどへの応用）